

授業改善等に関する報告書（2023年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ICT基礎演習	佐藤 健	PythonからUnityまでいろいろ挑戦していただきました。 プログラミングは、いまや高校生も学ぶので、大学生から社会人というレベルでは、ある程度、難しい課題に取り組む必要があります。パソコンさえあれば、学修できる内容なので、基礎スキルとして、衰えないように保持する機会を保ってください(すぐ忘れてしまいます。すぐ、バージョンが上がって、画面のインターフェースが変わります)。
アパレルデザイン実習 a	滝澤 愛	本授業は火曜日クラスと水曜日クラスとの2クラス開講された科目で、その水曜日クラスである。火曜日クラスと同内容、同進度であったにもかかわらず、こちらのが回答に関して火曜日クラスと比較してばらつきがみられた。予習時間は火曜日クラスよりも多かったこと、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか?」、「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか?」などの設問が、全体平均よりも高く、よかった点である。
アパレルデザイン実習 a	滝澤 愛	本授業は火曜日クラスと水曜日クラスとの2クラス開講によるものであり、本アンケートは火曜日クラスの結果である。回答数は少ないものの、ほぼすべての設問に関して、5.0の「大変満足」の評価を得られたことは非常に良かったと考える。予習時間も他の授業の平均値よりも多く、受講学生にとっても学習の定着と学習効果が高かったようである。
アパレル生産	大川 知子	3ヶ月半間の授業、お疲れ様でした。毎回熱心に取り組んでいただき、実際、総じて「熱心に取り組んだ」という方が全体の95.8%も居ました。また、ご自身の成長を実感した方も同じ%で、授業への満足度も「どちらかと言えば当てはまる」を含めると100%でした。みなさんからの、毎回のリフレクションも大変読み応えがありました。ファッションに興味が無い方も、ご自身が興味のある分野はひとつの産業として工業的、また、ビジネスとして運用されているので、今回の授業をきっかけに、その視点から見つめていると、新たな発見が出来ると思います。引き続き、良い学びを続けて下さい。
インテリアコーディネート論	山口 照也	まず、レポート課題提出結果についてコメントします。 ① 皆さんが課題対象とした生活空間の割合は、個人生活空間50%、共同生活空間25%、1R住居4%、生理衛生空間0%、住居全体0%で、昨年とほぼ同じ順位でしたが、自分がコーディネーター兼クライアントになれる自室(個人生活空間)を対象にした人が多く、半分を占めていました。わがままに考えるだけで無く、他者の立場になって考えなければならない「共同生活空間」や「生理衛生空間」を対象にする人が増えて欲しいと願っています。 ② インテリアコーディネート分析の分析考察項目は、課題要項では2項目以上でしたが、全項目を実践すると「より望ましいインテリアコーディネート」になるはずなので、今後役に立てください。今年度の割合は、家具36%、照明33%、寝装寝具18%、ウィンドトリートメント6%、建具3%、内装材3%、住宅設備機器0%、インテリアオーナメント0%、造作部品0%、エクステリアエレメント0%でした。上位の家具、照明、寝装寝具、ウィンドトリートメントは、生活者自らコーディネートする機会が多いので、コーディネーターを目指す人はこれ以外のエレメントをコーディネートする必要があります。 ③ レポートのみでの評価は、A+評価6%、A評価44%、B評価25%、C評価13%、D評価13%、未提出0%という結果でした。平均点は36/50点のB評価で昨年度と同じです。D評価は、課題要項を守っていなかったり、客観性がなく感想文に近いレポートです。 アンケート結果について、回答者は9/16人(56%)で、正しい結果なのか懸念がありますが謙虚に受け止めて、次のようにコメントします。 ① 「成長の実感の記述」と「自由記述」に5点のコメントがありました。「理解が深まった」「知識が身についた」「最終レポートでコーディネートした際に授業の学びを活かすことができた」等、多くは好評価のコメントでしたが、意見が1点ありました。「オンデマンドであるべき」という意見です。昨年度から5時限目の授業になり履修者が半減している状態です。実物のサンプル確認や臨機応変な対応が可能な対面授業が望ましいと考えているのですが、自分の都合に合わせて履修したい気持ちは分かります。 ② 「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」が当該区分平均や全体平均より多いことは、皆さんで改善して欲しいです。「予習復習時間」は昨年度より少なくなり、当該区分平均より少なくなっています。「理解度」は昨年度より高くなっていますが、当該区分と全体平均より低くなっているのが問題です。「欠席回数の多さ」と「予習復習時間の少なさ」が原因と考えられます。 ③ 「この授業の内容と方法について」の各項目は、ほとんど当該区分平均や全体平均より悪いのですが、昨年度より良くなってきている状態です。実施するのが楽しいと思ったワークシートCを推奨したのですが、実施する人が僅かで、効果は無かったようなので再検討してみます。 ④ 「全体について」では、ほとんどが当該区分平均や全体平均より低いのですが、昨年度より良くなっている状態です。「成長実感度」が昨年度より低くなったのは、「授業内容と方法」が原因だと考えられるので再検討してみますが、本年度はインテリアコーディネーター資格試験の受験予定割合が低いことも関係していそうです。

[2023 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
インテリアデザイン論	山口 照也	<p>まず、レポート課題提出結果についてコメントします。</p> <p>① 皆さんが課題対象とした空間の割合は、個人生活空間40%、共同生活空間37%、1R住居17%、住居全体5%、その他1%、生理衛生空間0%で、個人生活空間を対象にした人が昨年に比べて減ったものの多い傾向があります。共同生活空間や生理衛生空間を課題対象にすると自分のわがままな判断だけではなく客観的な判断が必要になるので、個人生活空間以外を課題対象にして欲しいかったです。</p> <p>② インテリアデザインの分析考察項目の割合は、家具13%、あかり12%、素材色彩11%、行為10%、窓8%、床7%、寸法7%、壁7%、心理6%、出入口5%、屋内環境・設備5%、かたち3%、ファブリックス3%、天井2%、架構1%です。家具、あかり、素材色彩は毎年度ベスト3で合計比率35%ですが、行為、窓、壁、床、寸法の比率が増えているのは良い傾向です。</p> <p>③ レポートのみでの評価は、A+評価3%、A評価16%、B評価33%、C評価21%、D評価20%、未提出7%という結果でした。平均点は34/50点でBに近いC評価で昨年度とほぼ同じです。昨年度より未提出者が増えています。D評価は、課題要項を守っていなかったり、客観性がなく感想文に近いレポートです。オンデマンド授業の影響があるかもしれません。評価には関係していませんが、デザインの思考よりコーディネートの思考のレポートが増えてきているようです。原点から考え、「本質を見抜く力」を養って欲しいと願っています。</p> <p>アンケート結果について、回答者は35/98人 (35.7%) と昨年度より多くなっているものの正しい結果なのか懸念がありますが、謙虚に受け止めて、次のようにコメントします。</p> <p>① 「成長の実感の記述」と「自由記述」に32点のコメントがあり、昨年度より多いです。「理解が深まった」「様々な角度から学ぶことができた」「考えた空間を図面で表現する力が身についた」等、好評価のコメントが多かったのですが、「講義資料が色々な色を使いすぎていて読みにくい」という意見が1点ありました。これは「講義資料が見やすい・分かりやすい」という5点の感想もあったことを踏まえて検討する必要があります。</p> <p>② 「あなた自身について」の項目で、「欠席回数」は昨年度より多くなっていますが、当該区分平均や全体平均より少ないです。「予習復習時間」も昨年より少なくなっていますが、当該区分平均や全体平均より多い状態です。「理解度」も昨年より悪くなっていますが、当該区分平均や全体平均より良いです。「理解度」が昨年より悪くなっている原因は「予習復習時間の少なさ」と思います。</p> <p>③ 「この授業の内容と方法について」では、「担当教員の声や言葉」以外には当該区分平均や全体平均より良い結果でした。「担当教員の声や言葉」はオンデマンド授業だったことと私自身の老化によるものもあると思うので今後注意することになります。</p> <p>④ 「全体について」は、「自己評価」以外は当該区分平均や全体平均より良いです。「成長実感度」「満足度」「意欲的取組み」が当該区分平均や全体平均より良かったので安心しました。</p> <p>本講義における毎回の小レポート提出と最終レポート提出で大変だったと思いますが、やった事は身につけているはずなので、今後活かして欲しいです。</p>
テキスタイル管理実験	塩原 みゆき	<p>授業内容については、ほぼ理解できていた。ただし、前期の受講者に比べ、作図ができずレポート提出が遅れていた学生がいたところから、データを読み解く力を培ってもらう工夫をすべきと思った。さらに丁寧な個別指導が必要であると実感した。</p>
テキスタイル材料学	加藤木 秀章	<p>テキスタイルが重要な時代に入っているのので、様々な取引現場や設計開発の場でテキスタイルにふれる機会があります。もしふれる機会があれば、意識するとより学修に寄与します。</p>
テキスタイル材料実験	加藤木 秀章	<p>装置がいっぱいあり、布の評価を体験したと思います。身近な繊維製品について意識するとより学修に効果的です。</p>
デザインワークショップ	内藤 将俊	<p>建築インテリア構法に続く、より高度な建築一般構造科目として、木造や鉄骨造、鉄筋コンクリート造に渡る広範囲な構造と構法についてのレクチャーに加え、オリジナルの軸組み図面を作成し、壁量計算を行い、さらに軸組み模型を組み立てるなど、専門的な内容の講義であったと思います。多くの受講生が木造壁量計算テストや鉄骨・RC造テストでしっかりと回答し、さらに、素晴らしい軸組み模型を完成させてくださいました。</p>
デザイン基礎演習 b	内藤 将俊	<p>90度、180度、360度開きの複雑な折り紙建築の作成に加え、ほとんどの受講生が初めて扱うスチレンボードやスチレンペーパーを用いてのコンタ模型や光の空間（別荘）、光の空間（自由課題）などを通して、高い創造性を身につけられたと思います。課題提出率が極めて高く、また、多くの自由課題を提出した受講生がいるなど、意欲的に取り組んで下さいました。特に、最終課題の光の空間では、シーンを的確にイメージし、それに適した材料や光源を用いて作成にあたり、光や影、また撮影アングルに工夫を凝らした、力作が非常に多く見受けられました。</p>
デザイン基礎演習 b	内藤 将俊	<p>90度、180度、360度開きの複雑な折り紙建築の作成に加え、ほとんどの受講生が初めて扱うスチレンボードやスチレンペーパーを用いてのコンタ模型や光の空間（別荘）、光の空間（自由課題）などを通して、高い創造性を身につけられたと思います。課題提出率が極めて高く、また、多くの自由課題を提出した受講生がいるなど、意欲的に取り組んで下さいました。特に、最終課題の光の空間では、シーンを的確にイメージし、それに適した材料や光源を用いて作成にあたり、光や影、また撮影アングルに工夫を凝らした、力作が非常に多く見受けられました。</p>
ファッションビジネスの世界	大川 知子	<p>3ヶ月半間の授業、お疲れ様でした。毎回熱心に取り組んでいただき、実際、総じて「意欲的に取り組んだ」という方が全体の97.6%も居ました。また、ご自身の成長を実感した方も95.1%で、授業への満足度も「どちらかと言えば当てはまる」を含めると97.6%でした。ほぼ1年生にも関わらず、個人発表も精力的なものが多かったのが印象的でした。例年、双方向の授業運用の満足度が少し低かったのですが、今回、リフレクションを導入したことにより、多少リカバリー出来たように思いますし、今後もこの領域を学んでみたいと思った方が90.2%も居たことは嬉しい評価でした。小テストの解説については、次の回で実施して来ました。もしも、来年度も何か受講いただく場合には、そちらをよく聞いて、不明な点があれば、遠慮なく聞きにいらして下さい。また、時折、配布資料の順番が相前後したこともありましたが、こちらは改善に努めます。皆さん是非、引き続き、良い学びを続けて下さい。</p>

【2023（後期）生活環境学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ファッション企画論	滝澤 愛	本授業に関しては、自分のテーマを決め、デザイン企画をし、ポートフォリオにまとめたデザイン作品を最後にプレゼンテーションするという内容である。毎回作業を指示するものの、金曜5限ということもあってか、非常に欠席者が多く、作業の指示が行き届いていない事、欠席による学生の作業の遅延が著しいことを毎回実感していた。出席をしない学生に対する対応の難しさを感じた。
プロダクトデザイン演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 若干欠席は多かったようですが、全体平均と当該区分平均よりやや上回っていたようで安心しました。 大問Iから、予習復習もやっていただき、身についたことが分かります。 大問IIは他の科目と比べてほぼ同等、マイクのせいもあってかやや聞き取りにくかったようで、機材も含めて考えたいです。 大問IIIからは、意欲的に取り組んでいただき、成長できたことが分かりました。 Q12. 具体的に成長を実感したことについて、記入してください。 に対しては、「ユーザー目線で考えることができるようになった」「商品の使い方やシナリオについて詳しく考えながらデザインしたのは初めてだった」「ペーパーモックを曲げたり剥がしたり使い方を知ることが出来た」という意見をいただき、授業が狙い通りにいったと考えております。 また、Q19では「デザインしてみたい、作ってみたいモノ」を記入いただきましたが、 「インテリア、木材を使ったもの」「ステレンボードで円柱などを作る練習だったり小物をもう少し作りたかった」という意見もいただき、今後の参考とさせていただきます。
マーケティング論	大川 知子	3ヶ月半間の授業、お疲れ様でした。総じて「熱心に取り組んだ」という方が全体の91.8%も居ました。また、ご自身の成長を実感した方も同は95.9%で、授業への満足度も「どちらかと言えば当てはまる」を含めると同様の%でした。説明の分かり易さに95.8%の方が賛同して下さった一方、理解度は62.5%でした。「分かり易さ」と「理解出来にくさ」の相関が、これだけでは自分自身も読み解けないのですが、今年度から初めてこの科目に導入したりフレクションも更に活用して、来年度に向けてブラッシュアップしたいと思います。また、配布資料や課題の説明についても、お一人ずつ指摘をいただいているので、改善に努めたいと思います。何れにしても、今回の授業をきっかけに、企業を見る際の新たな視点が生まれたのなら良かったです。引き続き、良い学びを続けて下さい。
マルチメディアデザイン演習	山崎 和彦	ある課題が与えられ、作品を生む苦勞を経験することこそが実習や演習の意義であると考えます。その点を踏まえて、努力を惜しまず受講することを期待したい。
家庭工学	加藤木 秀章	みなさん、頑張っていました。工学と家庭、PC、スマホ、電子レンジ、工学が多様です。少し意識すると、より学修に効果的です。
基礎造形演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 大問Iから、予習復習もやっていただき、身についたことが分かります。 大問IIから、他の科目と比べて説明やスライドが分かりにくいにくかったようで申し訳ありません。Illustratorをしっかりと覚えていただきたく、詰め込みすぎたようです。次年度はIllustratorの基本操作の説明を充実させて、課題をこなせるように考えます。 大問IIIからは、意欲的に取り組んでいただき、成長できたことが分かりました。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・ 作品を作ることでillustratorを使いこなせる様になりました。 ・ この授業でここまで使えるようになるのがすごく成長したと思いました。 ・ illustratorを使用したデザインの仕方を身に付けることができた。 等、狙い通りの成果があったものと考えております。 Q1.19.の「自由記述欄」には「この授業で書きたい・作りたいモノを書く」ようにお願いしました。意見としては、 ・ 平面造形では、商品のパッケージをデザインしてみたい。 ・ 自分で1から考えることができるポスター系が楽しかったのでやりたいと思った。 ・ 平面→ホームページデザイン立体→スタンドグラスアートなどの意見をいただきました。 次年度の授業で考えてみようと思います。
建築デザイン論	内藤 将俊	新型コロナウイルスが5類に移行したことを踏まえ、海外にも視点が当たるよう、建築家や家具メーカーの代表、建築写真家など、世界的に活躍する方々を含む多くのトップランナーが集結し、広範囲かつ先進的なレクチャーをしてくださいました。質疑等を通して、皆さんからも前向きに参加する姿勢が感じられました。
建築構造	橋 弘志	もう少し反転授業的な方法にシフトしていきかけたが、学生によって理解の程度にかなり差が開いてしまった感もある。予習復習をきちんと行った学生にとっては、とくに躓くこともなく取り組んでいたのではないだろうか。苦手意識の強い人もいたかもしれないが、全体的にみると、構造計算の基礎に対するある程度理解を進めることはできたと思われる。
住居デザイン論	橋 弘志	住居デザイン論は、いつでも視聴でき、自分のペースで取り組めるというオンデマンド授業に、どのようにしてライブ感や双方向のやりとりを取り入れていけるのか、いろいろ試している授業である。毎回の質問への回答、だんだんと長くなってしまいが、授業では語りきれない話題を取り扱っており、合わせて読むと広がりができるように心がけている。
消費生活学	杉本 公枝	授業アンケートへの回答ありがとうございます。 授業を受けたことによって、テレビから流れてくるニュースやインターネットの情報などに接し、「これは消費者問題だな」と思い浮かぶようになったのではないのでしょうか。皆さんからいただいた授業に関する好意的なご意見が、少し大ききかもしませんが私の学びの糧になります。半年間ありがとうございます。「美とお金儲け」に関してはくれぐれも気を付けてください。

[2023 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報アメンティ論	尾崎 博和	授業をよく聞いてくれて感謝しています。 さらに授業の構成と時間配分を見直し、皆さんと教員との双方向のやり取りを増やす等、授業時間中における気づきや記憶の定着を意識したいと思います。 今後も様々な経験を通じてデザインスキルとデザインマインドを身に付けていってください。学生生活を全力で楽しんでください。
色彩設計演習 a	槇 究	半年間、ご苦労様でした。 実際に自分の手で作り出し、自分の声で説明するという、その良い機会と捉えて貰えたのだったらいのですが。 全体に、平均より高い評価が得られたので、安堵しています。 特に、成長実感と取り組み意欲が4.71と高めでした。これは嬉しかったです。最終回にも話をしたように、今回、皆さんが作成してくれたものは評価高めのもが多かったですが、そこにも現れていると思いました。 3年生以降の制作課題にも、同様に意欲的に取り組んで貰えればと思います。
人間工学	佐藤 健	今期は、大半の履修者がパソコンを持参可能ということ想定して、文書で授業回の成果回収にしました。パソコンがなくても、文字入力操作は可能ですが、問いに対する答えとして、適切かどうかインターフェースの画面の大きさは、大きい方が有利に働きます。提出する前に、見直してみる習慣も重要なスキルです。
生活環境科学	塩原 みゆき	授業内容と方法については、かなりシラバスとおりでであると概ね理解されていたが、双方授業であるかという質問に対しては少し改善が必要であると思われるので、来年度の授業では工夫したいと思う。
生活環境学セミナー	内藤 将俊	スプリングスクールでの建築設計に始まり、前期には、コーリアンによるプロダクトデザイン、茶室アプローチの設計施工、ゼミ合宿、サマースクールなど、後期には、常磐祭での研究室改造計画や多くの市民にお喜び頂いた光の庭など、極めて創造性が高い活動に取り組んで下さいました。確実に実力が身につけていると思います。皆さん、それぞれの進路に向けて積極的にチャレンジしていきましょう！
生活環境学セミナー	大川 知子	どなたからもアンケートを寄せていただけていないので、コメントのしようが無いのですが、1年間を通じて、みなさん大変精力的に取り組んでいただき、「3研究室合同プロジェクト」も、ふたつの「産学プロジェクト」も良い成果を残すことが出来、伴走をすることも、大変有意義な1年間でした。いよいよ、最終学年。卒業研究を頑張りましょう！
生活環境学セミナー	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 大問Iから、予習復習に時間を費やしたが、欠席が多かったのが残念です。 大問IIから、PPTは良かったが、シラバスから若干外れたりスピードが早かったことが反省点です。特に前半の椅子は、最初から板取りや工具の使い方等を説明すべきであったと思っております。 大問IIIからは、総合的に満足しているがあまり意欲的に取り組んでいないかったようで、ここも残念な点でした。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・想像しているものを実際に作ると上手くいかないことが多い ・相撲協会や教員の前で自分が一から考えたものを発表して力がついた ・モノのデザインからそれを形にするまでの流れを以前よりも理解できた という意見があり、もの作りを知り人に伝えることの大切さが少しでも伝わったのではないかと考えております。 Q1.19.の「自由記述欄」には「この授業で書きたい・作りたいモノを書く」ようにお願いしました。 ・3Dプリンターを使ってみたい との意見をいただいたので、検討していきたいと思います。
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	くらしについて多様な考え方、人、時代をみていくとより深まってくると思います。
生活環境学セミナー	槇 究	回答を最終回に促すべきでした。回答人数が少ないのですが、最高評価でした。 私も、そう思います。とても頑張った。それが成果に表れていたな、と。 4年生のゼミも、よろしく。
生活環境学セミナー	佐藤 健	ゼミ時間にきっちり参加できてない人も、きっちりこなせた人もいろいろですが、各自の自己探求と周辺への配慮は、コミュニケーションスキルとして身につけてきたでしょう。
生活環境学セミナー	山崎 和彦	御回答下さった方に向かい発することにする。御健康に留意され、ささっと課題をこなし、よき人生を送って欲しい。そう願っております。
生活環境学セミナー	滝澤 愛	回答数は僅かであったが、設問全てが5.0であり、非常に良かったと考える。
生活環境学セミナー	塩原 みゆき	アンケートのお願いができておらず、回答が2名と少なかった。 ゼミ活動については満足度しており、自身の成長を時間しているようだった。今回は、興味を引くような内容を選んで、ゼミ活動としたが、来年度は、4年生になってからの卒論選び、卒論のまとめ方など、もう少し学術的な内容も入れつつ、ゼミ生の力をつけさせていきたいと思う。
生活環境学演習	滝澤 愛	生活環境学科の全教員が担当する授業であるが、結果は概ね高く、2年生の学生にとって、各研究室の特徴を知り、ゼミ選択をするための準備として良い機会となる授業であったようである。
生活環境学演習	佐藤 健	3年のゼミはどうでしたか？参加することに意義がある場合、無断欠席はしないように心がけましょう。

[2023 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学演習	槇 究	授業に意欲的に取り組んだ人が多かったようです。 3・4年生でのゼミ活動等に、学んだことを活かしてください。
生活環境学演習	内藤 将俊	10の専門的領域を有する各々の研究室での講義を通して、ご自身が取り組むべき分野や卒業後のことについて改めて考える機会になったかと思います。レポートの提出状況も良く、また、400字を大きく超えるレポートを多くの受講生が提出するなど、皆さんの積極性を強く感じ取ることができました。
生活環境学演習	山崎 和彦	毎週を楽しく過ごすことができました。諸君に感謝します。
生活環境学演習	加藤木 秀章	多様なことにふれ、質問などをするとより学修に効果的です。
生活環境学演習	安齋 利典	大問Iから、回答者は欠席しなかったことと、よく理解できたことが分かりました。 大問IIは、ほとんどが高評価であり、分かりやすい説明ができたのかと考えております。 大問IIIも、高評価であり、意欲的に取り組み、総合的に満足していることも分かりました。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・ゼミを回り、将来を考える力を身につけた ・自己分析力と、将来を見据えて所属を考える思考力 との回答があり、狙い通りの授業になったかと考えております。 Q1.19の「自由記述欄」では、 ・レポートを通して文章にする力が身についた ・関わりが少ない分野も決まったメンバーで回っていくのは新鮮で、自分を見直すきっかけになった と狙い通りの意見をいただいたと考えております。
生活環境学演習	大川 知子	半期の『生活環境学演習』、お疲れ様でした。希望の通った方も、そうでない方も、是非、引き続き前向きに頑張っていたいただきたいです。同じ研究室になった方たちとも、良い関係を築いて下さい！
生活環境学演習	橘 弘志	毎回異なる研究室を巡り、各先生の話聞くことで、興味や視野が広がったという声をかなり聞いたので、ゼミ選択を考える上で貴重な機会になったのではないかと思います。
生活環境学演習	塩原 みゆき	回答が4名と少なく、アンケート回答の日時の設け方に不備があったように思う。内容については、かなり理解され、評価が高かったと思う。
生活環境基礎 b	佐藤 健	授業の解説とたくさんの小問題を通して、適性試験対策や上級学年になった時の、ちょっとした算術過程の理解が自力でできるようになることを期待しています。もっと、探究したい場合は、研究室で対応可能です。
生活環境基礎 c	塩原 みゆき	アンケートの結果から、授業内容については、シラバス通りで、スピードについても概ね満足していることが分かったが、授業内容は科学系実験に必要な基礎的知識のところであり、単位の変換や計算等で、四苦八苦したことが伺え、分かりやすい授業に努めたつもりでいたが、さらに、計算等では噛んで含むように、さらに丁寧に伝えていかなければならないことが分かった。
生活機器設計演習	安齋 利典	授業を受けていただきありがとうございます。 大問Iから、欠席も少なく、予習復習に時間を費やし、よく理解できたことがわかります。 大問IIからは、全体的に分かり易かったようで安心しました。 大問IIIからは、意欲的に取り組めて総合的に満足していることが分かりますが、 Q1.14. あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？ に対して低い評価をしているので、自分の作品に自身が持てていなかったのかと想像しております。 Q1.12の「具体的に成長を実感したこと」に対して、 ・対象ユーザーのことを考えて、作成することができた ・デザインから製品まで制作することで、設計者と製作者どちらも体験できた ・自分のこだわりを最後まで突き通して妥協せず制作する力がついたと思います と言う意見があり、成長を感じます。 Q1.19.の「自由記述欄」には「この授業で書きたい・作りたいモノを書く」ようにお願いしました。意見としては、 ・収納ケースやぬいぐるみ ・木工はこだわって、もっと時間をかけてやってみたかった。 ・指輪は普段できない経験なのでいい経験でした との意見があり、こだわりや普段できない経験を今後の課題等に結びつけていただきたいです。
生活空間設計製図 2	橘 弘志	設計製図2は2名体制なので、前半の課題と後半の課題で教員を入れ替えて、計画的なアプローチと設計的なアプローチという、異なるアプローチからの意見を聞けるようにしている。設計には明確な一つだけの解答があるわけではないので、さまざまな見方、考え方に触れて、視野を広げるきっかけとしてほしい。
生活経営論	高橋 桂子	皆さんとはZOOMでしたので、直接お会いできず、とても残念でした。8割方の履修生がしっかりとついてきてくれて、responにもびっしり書いてくれたことが、私のモチベーションにもなりました、ありがとうございます。ZOOMといえども授業は一方通行ではなく双方向であることを実感できた授業でした。仕事も授業もteamで作っていくもの。頑張ってください。
生理学	山崎 和彦	受講して下さったことに感謝します。この領域を独力で学習するとなると如何に大変か。そうしたことが分かっておられる方は、恐らく、成績が良いのであろう。

[2023 (後期) 生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生理人類学実験	山崎 和彦	この科目を受講するか否か。それが卒業論文の制作過程に大きく影響する。諸君には、他の学生より、軽快に事を進めて欲しいと願っています。
繊維高分子材料学	加藤木 秀章	繊維が重要な時代に入っています。様々な取引現場や設計開発の場で繊維にふれる機会があり、意識すると身近な製品や建材、繊維製品にふれ、意識するとより学修に寄与します。
繊維高分子材料実験	加藤木 秀章	実習の授業では、会社で実施している場がみれます。タグなどの重要性を鑑みるとより学修の重要性が深まります。
福祉住環境論	橘 弘志	どうしても講義形式で一時的になりやすいので、授業中ではなるべくresponを活用して、リアルタイムに受講者の声を共有しながら進めることを心がけている。授業の後半では、スライドをそのまま配付するのではなく、関連資料を添付するようにしている。授業の前後に読んでもらえると、より理解が深まるのではないかと考えている。